



# 留学生 研修生 講習会が県人会館で

ASEBEX (留研生OB会) による、2005年度県費留学生・技術研修生への講習会が、1月3日から28日まで夜間行われた。



谷メイさん (福岡)、副会長に岩手県人会の阿部孝司アイリス君 (2003年度県費留学生) が就任した。

06年度留学生  
研修生募集

受講生は65名で、日本の文化や歴史、日本語によるテーマ別発表会など事前学習をし、また親睦を図ることを目的とし、また野外講習会なども行われた。



岩手県においては、2006年度県費留学生及び技術研修生を受け入れております。

28日には終了式があり一人一人に証書が渡された。31日には今年度OB会役員就任式が各界の来賓を招いて行われ、会長に金

留学生は1年間、研修生は6カ月で日本語能力3級以上が必要です。

希望者はいつでも県人会事務所に問い合わせ下さい。(11) 3207-2383

## お 便 り 集

### 冬らしくなりました

水沢市 山折 昭磨 (賛助)

新年明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。今年も何とぞ宜しくお願い申し上げます。早々に御年賀を拝受ありがとうございました。

また、昨年暮れには、県人会ニュース122号123号やニッケイ新聞記事のFAX等を頂き、重ねて御礼申し上げます。

当地は雪の全く無い暮れを迎えていましたが12月30日に大雪となり、ようやく冬らしくなりました。

今年一年、岩手県人会千田会長様はじめ、役員ご一同様にとりまして良いお年でありますよう、祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。 敬具

### 感謝申し上げます

パラグアイ国イグアス岩手県人会  
会長 菅原 祐助

新年をお迎えし、貴会におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。

さて、この度はビデオテープ「岩手民謡使節団各地で唄う」を、ご惠贈にあずかり誠に感謝にたえません。厚くお礼申し上げます。近々の会合の機会に会員に観て頂くほかに回覧にして各家庭でじっくりと楽しんでもらおうと思っております。

毎回の「ブラジル県人会だより」また、この度のビデオテープと貴会のお心遣いに改めて心より感謝申し上げます。

あらゆる面で先輩格である貴県人会より、本年もご指導ご

鞭撻をお願い致しますと共に皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。

### また南米へ行きたい

盛岡在の賛助会員「吉田 重雄」氏は、数年前転倒。いま後遺症全快の為リハビリに励んで、また南米に行くんだと張り切っておられる。

### 海上幕僚幹部教育課勤務に

海上自衛隊 小林 磨

新年おめでとうございます。昨年練習艦隊で寄港の際には大変お世話になりました。

ブラジル岩手県人会ニュースを送って頂き、大変ありがとうございます。毎回楽しみに拝見させて頂いております。昨年帰国後、海上幕僚幹部教育課勤務となり、以下の住所に変更になりましたのでお知らせ致します。

〒 153-0043 東京都目黒区東山 2-23 B-310  
TEL 03-3794-9014 mail kobakoba129111@nifty.com

小林氏は昨年7月練習艦首席幕僚として来伯。

さらに、下記の方々よりもお年賀状を頂きました。誠にありがとうございました。

- ☆ 清水泰宏様 (開成エンタープライズセンター社長、賛助会員)
- ☆ 細谷昂様 (現在岩手県立大学教授)
- ☆ 佐々木まり子様 (N.Y県人会員、賛助会員)

# 「風に向かって立つ」

八重樫協二



【回想録「風に向かって立つ」は藤村副会長が宮古市の姉から入手、会報十月号にブラジル訪問部分を掲載。

また氏は若い頃からボクシングを嗜んでいた事から、町の高校でボクシングを指導。同町から移住のチャンピオン熊谷泰志氏などを育てた】

### 第一部 「若き日の夢」

☆ふるさとの岩泉 ☆早山の家系 ☆快活明朗な父 ☆思春期の挫折 ☆喧嘩ボクシング ☆戦時体制下の青春 ☆開拓者への憧れ ☆堀口道場へ入門 ☆戦争の嵐 ☆ふるさとの山

### 第二部 「遙かなる夢の足」

☆戦後開拓の夢 ☆二五歳で初当選 ☆拓魂 ☆保護司を拝命 ☆炭焼き青年の更生 ☆新しい岩泉町の誕生 ☆龍泉洞の開発 ☆フアイティングスピリット ☆若い力で県議会へ ☆格差是正 ☆明日への希望 ☆県政の課題 ☆誠実、明朗、躍進 ☆北上山系の開発 ☆議会人の厳しさ ☆まごころの再確認 ☆新たななる挑戦

### 第三部 「風にむかって立つ」

☆ボクシングスタイル ☆対話と町民総参加の町づくり ☆満身創痍の一年 ☆地方の時代の行政改革 ☆風にむかって立つ ☆豊かな未来へのステップ ☆小本港起工式 ☆水サミット ☆道は拓ける ☆済生会病院の改築 ☆ブラジル訪問 ☆わが町の国際交流 ☆遙かなる道 ☆がんばれば岩泉 豊かな未来へ向かって

### 八重樫協二氏の略歴

☆ 生年月日 大正十年五月四日  
☆ 学歴 東京農業大学専門部拓殖科 卒業

### 『公選職歴』

☆ 昭和二十二年五月 岩泉町議会議員  
（～昭和三十六年三月・五期、議  
会副議長）昭和二十三年五月～  
昭和三十



増田知事と 苑遊会にて

一年九月  
☆ 昭和三十  
二年五町  
議会産業  
経済常任  
委員会副  
議長（～  
昭和三十  
八年三月・  
一期）  
☆ 昭和三十  
六年 岩泉  
町議会議  
長（～昭和

三十八年三月・一期

☆ 昭和三十 八年四月岩手県議会議員

（～昭和五十五年四月・四期）

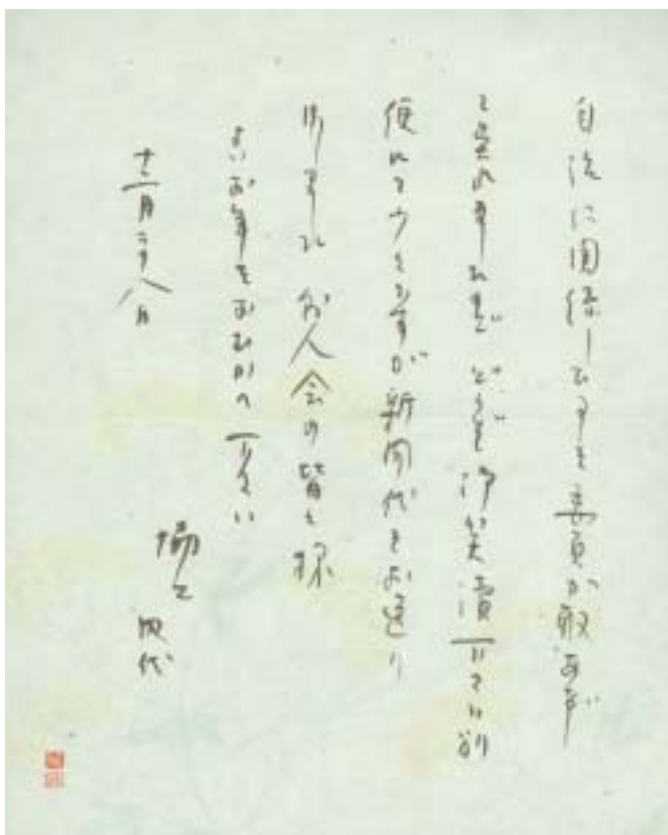
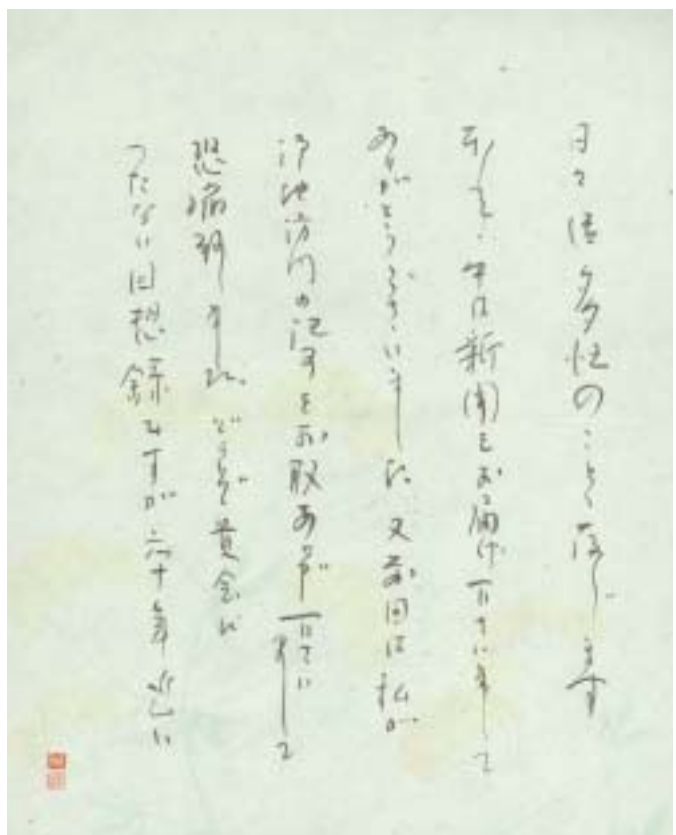
☆ 昭和五十五年五月 岩泉町 町長

（～平成十一年十一月大病を患  
い辞任五期）

※ 期間中様々な要職を兼任、多々の表  
彰を受けられ平成十一年地方自  
治功労で秋の園遊会に招待される。

※ 平成十二年十一月 地方自治功労に  
て勲三等瑞宝章授章

### 八重樫協二・加代様 からの お便り



## 白寿の思い熱く地域史を

(胆江日々新聞) 金ヶ崎町西根表小路の佐藤武さん(98歳)は、昨年数え年で99歳の白寿を迎えたことをきっかけに、先祖代々住んでいる同町の重要伝統的建物群保存地区について執筆し、このほど冊子(A5版、20ページ)を発刊した。

内容は伝建群地区の概要と歴史で構成され、歴史は△安倍氏△国見文化△葛西氏△戦国騒乱△伊達氏△大町氏△明治以降について記述している。

本を読むことと海外旅行が「何よりの楽しみ」という佐藤さんが、数年前に脳梗塞を患い体の一部が麻痺した。現在は足などに幾分障害があるが「自分の事は自分で出来る」ほどに回復。白寿を節目に父親から聞いた事と、自分の足で歩き調べた事などを記した。「分かりやすいようにあえて簡略に書いた」と佐藤さん。地域の人達は「伝建群のことをよく理解できた」と評判だという。

佐藤さんは、青森県弘前市や秋田県角館町、鹿児島県知覧町など県外の伝建群指定地域を訪れたこともある。その経



金ヶ崎の佐藤武さん

験から「金ヶ崎の伝建群は、他地域のように観光地化した所とは趣が異なるので、比べることは出来ない。他地域は昔の姿がなくなっている所が多い」と話す。平成13年6月に国の選定を受けた後、同町の伝建群地区を訪れる観光客が増えている。佐藤さんは「金ヶ崎は観光地だけと思って来るより、歴史的なことをメインに調査すれば、その値打ちが分かる」と、同町の特徴を強調。

「調査や観光はそれぞれの市町村でバラバラにするのではなく、壁をなくして力をあわせてやっていかなくては」と、近隣市町村が連携して保存と振興に取り組むよう求めている。

【白寿を迎える佐藤武さんから賀状と新聞記事が送られてきました。賀状には昨年韓国、オランダ、ベルギー、パリなどを旅行されたとの事。

佐藤さん白寿おめでとうございます。益々お元気で長寿を祈念申し上げます】

## 県人会の動き (2005年1月)

- 1日 日系主団体による「新年祝賀会」が日本文化協会にて行われ約500名が新春を祝った。  
県人も数名が参加した。
- ☆ 盛岡の一戸和氏より新春ご挨拶のFAXを受信。
- 3日 県連執行部会へ千田会長出席。  
☆ 議題 新事務局長について、その他。  
☆ Asebex(留研生OB会)主催、05年度留学生、研修生に対する講習会始まる。(場所当岩手県人会ホールを提供)
- 7日 会報124号編集、割付け、レイアウト及び文字校正作業。  
☆ 定款登記所より一部不都合ありと指導を受ける。  
☆ 多田マウロ理事会報124号ポ語版仕上げる。
- 8日 定例役員会開催 議題 定期総会について。
- 10日 会報124号ニッケイ印刷へ発注。  
☆ 県文化国際課へ新年のメール発信。  
☆ 藤村副会長寄贈本の整理作業。
- 11日 ニッケイグラフィックに出向、124号グラ上がる。プルーフ作業。
- 12日 引続き試し刷り校正作業他。  
☆ 県国際課副主幹兼主査木村久氏より新年メール。留学生受入れについてなど。  
☆ 多田マウロ理事ポ語総会案内状作成。  
☆ FDP記録映画製作所の左藤嘉一氏、野崎文男氏来所。  
☆ 岩泉町の八重樫協二氏へ図書寄贈の礼状と45周年記念ビデオ発送。
- 13日 総会案内状及び定款発送作業。大崎氏手伝う。
- 14日 定期総会案内状と共に新定款を会員へ発送。  
☆ 会報124号発送作業。(藤村、和田、石井の諸氏手伝う)
- 15日 Blue Tree hotel で県連新年会。(出席千田会長、多田マウロ理事)

- 16日 アチバイア市中沢スポーツセンターにて、留研生講習会。出席千田会長、多田マウロ理事。
  - 17日 会報124号発送(国内300通、国外100通)
  - 18日 山道事務長所用のため外出(高畑理事代勤す)  
☆ 県連執行部会(出席千田会長)
  - 19日 JICAボランティア和美智子さん来館。  
☆ 総会公告邦字2紙に掲載。
  - 20日 ニッケイ新聞大耳小耳欄に、会報124号で特集した日本の賛助会員「お便り集」がニュースとなり、菅原圓雄氏、吉田恭子さんのお便りの一部が掲載された。
  - 21日 29日の臨時役員会案内状発送。
  - 22日 監査役栃沢、伊藤、高橋、及川の諸氏による会計監査。昆野会計、山道事務、千田会長立ち合う。
  - 23日 宮城県人会新会館落成式に千田会長夫妻、多田マウロ理事、昆野ワシントン会計出席。
  - 24日 昆野会計深夜まで経理関係報告書作成。
  - 25日 サンパウロ市政記念日(451周年)休日  
☆ 県文化国際課高橋勇喜氏へ礼状発信。
  - 26日 広報金ヶ崎受領。
  - 28日 県連代表者会議へ千田会長出席。議題は4世以降の就労ビザ、日系人実態調査、移民のふるさと巡り、愛知万博、第8回日本まつり、移民100周年等。  
☆ 新定款登記を済ませ完了。
  - 29日 臨時役員会招集。議題は総会準備など。  
☆ 有北ゆきみ奈良県人会長が昨夜逝去との報。
- ※ 尚、婦人部集会は毎木曜日行われた。



宮城県人会新会館

## 会費納入者名 (敬称略) 2005 年度

陳 文財	及川 君雄
藤村 光夫	田鎖 満
高畑 修一	星 正人
栃沢 千秋	山田 幸考
武田 春吉	手嶋 多田 良子
手嶋 オサム ジョージ	名原 幸造
矢野 久	渡辺 公子
加納 ナカ	

## 賛助会費納入者 (敬称略)

☆ 岩崎 雄亮様 NY 県人会長 (05 年 06 年度)

### 寄付寄贈

☆ 佐々木 憲輔様 お茶菓子  
☆ 石井 紅夫様 スポーツシャツ 7 枚  
☆ 八重 榎協二様 (元岩泉町長) 520 レアアイス  
☆ 岩船 信一様 レーザーカラオケ 6 枚 - 300 曲  
☆ 田中 由希子様 図書 47 冊、ビデオ連続ドラマ 4 巻 42 本

## 県から

### 2004 年回顧ビデオ

☆ テレビ岩手「いわてことし 2004」55 分  
☆ 岩手放送「いわてこの一年」55 分

県地域振興部文化国際課、総括課長 高橋勇喜氏から上記ビデオテープの送付がありました。

拝啓

時下益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃県政運営並びに国際交流・協力事業の推進につきましては、格別の御理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年末、地元民間放送局が放送した 2004 年の岩手の年間を回顧するテレビ番組のビデオをお送り致します。皆様でお楽しみ頂ければ幸いです。

貴会の益々のご発展をお祈り致しております。

敬具

## 日本移民 100 周年への提言！

もう  
黙ってられない！

### 「リベルダーデの灯を消すな」

(前号より続く) (2)

サンパウロ 高橋 祐幸



俗に「身の丈に合った」という言葉があるが、今現在の文協ビルは昔「日本人街」今「東洋街」と呼ばれるガルボンブエノ街に位置し地下鉄サン・ジョアキン駅に近く、日系のホテル、レストラン、商店街なども密集している便利と馴染みの場所であり、週末にリベルダーデ広場で開かれる「東洋市」はいまやサンパウロ市の観光名所にまでなろうとしている。

つい最近の選挙で当選した日系の市議員はリベルダーデ地区の更なる活性化プロジェクトをスローガンにしているほどであり、ロスの「リトル東京」やサンフランシスコの「チャイナ・タウン」と並んで市の名所として国際的にも認知されているリベルダーデから日系社会の分裂、二極化にもなりかねない新しい箱物を敢えて建設し移転しなければならぬ必要があるのかどうか、それこそコロニアの総意を問うべきではないのか。現サンタクルス病院(旧日本病院)が日系社会の手に戻って来ないと知ったとき「日系人の病院が欲しい」と言う日系社会こぞの悲願があったからこそ、日本の政財界をも動かして日伯友好病院は完成したと思われるが、現在においても将来を予想しても、文協よりも援協のほうが、はるかに重要度が高いように思われる。

日伯友好病院はあまり日系社会に馴染まぬ地区にあるとは言

うものの受診者・患者数は日系人よりもブラジル人の方が多いくらい。ブラジル社会に貢献しており、若い日系医師の登竜門ともなっているのであるから、現在文協ビル内にある援協診療所をもっと充実したものにし、友好病院とカルテの共有化、シヤトルバスや専用救急車の運行を工夫すればコロニアの被る恩恵や便利性、利用度がもっとも高まること必定である。

幸いブラジル政府も百周年記念には関心をもっているのであるから隣接する軍隊の旧施設を払い下げてもらうべく政治工作をし、そこに新しいビルを建てて、現在文協ビル内にある諸団体、施設を移転させ、現在のビルを取り壊して新ビルを建設し、完備した文化ホール(分散している)、県人会の連合ホール、各種イベント会場、体育館、地方日系団体と音声画像を直結する通信施設、民芸、物産、その他のアーケードまで作ったら、日系人もブラジル人もこぞって出入り集合するようになり、日伯文化、親善・交流のメッカとして活況を呈すること確実である。

先人が築いた貴重な遺産であり、先人の歴史と尊い魂がこもっている現在の文協ビルの増築拡充を図って、次世代にバトンタッチを委ねる方が、百周年事業にふさわしく、しかも「身の丈に合った」殿堂になるのではないかと。

今、私は「リベルダーデの灯を消してはならない」と声を大にして叫びたいのである。

おわり